

第4回 学習活動の基礎知識(1)

これまでのゼミの資料は、次のサイトに公開されています。印刷した資料が必要な場合は、サイトからプリントアウトしてください。

- <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/kisozeimi/>
- ゼミに関する書籍などの情報もあります。

前回の宿題

自分で宣言した「2つの工夫」をした実際のノートを紹介してみましょう。

- どの科目でもよいので、実際にどの程度工夫ができたかを説明
- 各自のノートを持ち寄って、情報交換してみましょう

前回の復習：資料の収集

大学図書館の利用

実際に図書館へ行って、「図書館ツアー」に参加し、図書館の利用について説明を受けました。

- 兵庫大学図書館: <http://media.hyogo-dai.ac.jp/lib/>
- 兵庫大学 OPAC(オンライン蔵書目録): <http://harmonis.lib.hyogo-dai.ac.jp/mylimedio/>

大学図書館のサービスには、次のようなものがあります。公立の図書館とほぼ同じ内容です。

- 資料の貸出
- レファレンス・サービス(「調べもの、探しもの、お手伝いします」)
- コピー・サービス
- 他大学の図書館などの利用
 - 閲覧: 他大学の図書館を利用できるように「閲覧依頼書」を発行
 - 複写: 文献のコピーを取り寄せる
 - 借用: 文献そのものを借りる
- 購入リクエスト

図書館での資料の分類

- 日本十進分類法(NDC: Nippon Decimal Classification)
 - 資料の背に張られたシールに書かれている番号
 - 資料のテーマ(主題、分野)ごとに分かれている
(例)芸術 スポーツ、体育 球技:「783」

資料の種類

- 参考図書(レファレンス・ブック): 辞書、事典、百科事典、年鑑、統計資料、白書、文献目録
- 新聞: 一般紙(全国紙、地方紙)、スポーツ紙・レジャー紙、専門誌、業界紙、機関紙、広報紙
- 図書/単行本: 文庫本、新書、専門書など
- 雑誌、逐次刊行物(定期刊行物): 一般雑誌(月刊誌、週刊誌など)、学術雑誌(学術雑誌、論文誌、講演論文集、学術定期刊行物など)
- インターネット上の情報: マスコミ(新聞やテレビなど報道機関)のサイト、行政(政府や自治体)、企業・各種団体のサイト、まとめサイト、個人のサイト(日記、ブログなど)

資料としての情報の鮮度・信頼性

- 鮮度: インターネット > 新聞 > 学術雑誌 > 図書 > 参考図書
 - インターネットは情報をすぐに公開することができる
- 信頼性: インターネット < 新聞 < 学術雑誌 < 図書 参考図書
 - できあがるまでに多くの人や専門家によるチェックがあるほど、信頼性が高い

参考文献

- 学習技術研究会編著「知へのステップ 第3版」, くろしお出版 (2011.04)
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」, 専修大学出版局 (2006.04).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).

発想を“見える化”して広げる

大学の図書館と公立の図書館とでは、どんな違いがあるでしょうか。

それぞれの図書館の特徴などを、思いつくままにリストアップしてみましょう。発想を広げたり、考えを整理したり、系統だてて考えるときに使うことができる、発想方法を利用してみましょう。

マインドマップ

色やイラストを取り入れながら、頭の中のイメージを紙の上に表現する思考技術に、「マインドマップ」があります。

マインドマップのポイントは、1つのテーマについて連想して思い浮かんだことを、短い言葉や絵でそのまま紙に書きだして、枝が放射状に伸びていくように、次々と広げていくことです。

いくつかのマインドマップを描いてみて、特定のテーマについて発想を広げたり整理してみましょう。

1. 多色ペン(色鉛筆やボールペンも可)と横長の大きめの紙(A4サイズ以上)を用意する。
2. 紙の真ん中に、テーマを代表するようなイメージやキーワードを描く。色は3色以上使う。
3. 真ん中のイメージから太い枝を伸ばすように何本か描く。それぞれの枝には真ん中のイメージから連想されるキーワードやイメージを1つ描く
4. 伸ばした太い枝の先から、さらに枝を何本か伸ばす。元の枝のイメージに関連するキーワードやイメージを自由に描く。枝の先から新たな枝をつなげて伸ばしながら、木の枝のようにのびていく。伸ばすたびに枝はだんだん細くなる。
5. 離れた枝にあるイメージがお互いに関連があるようなら、線でつないだり、ひとまとまりの枝を枠(雲型)で囲む。

参考文献

- トニー・ブザン, バリー・ブザン著, 神田昌典訳「ザ・マインドマップ」, ダイアモンド社 (2005.11).
- 森時彦, ファシリテーターの道具研究会「ファシリテーターの道具箱」, ダイアモンド社 (2008.03).
- 石井力重「アイデア・スイッチ」, 日本実業出版社 (2009.07).

次回(5月9日): 「文章の書き方(1)」

- 「基礎ゼミ」のすべてのゼミと学習支援センターが連携して、授業を行う
 - 「文章の要約(読む・まとめる)」がテーマ(予定)
 - 9時に5号館401教室へ集合
- 次回までの宿題
 - (1)「自分の出身地」または「大学入学から1か月の出来事」のどちらかをマインドマップにまとめる
 - (2)近所の図書館に行ってみる
 - 図書館の名前、場所、雰囲気、特徴、貸出冊数、利用の条件などを調べておく